いろいろなシミ取り

いちばん多い食べ物のシミ

紅茶・コーヒー類
水で固く絞ったタオルで拭きます。生クリームやミルク入りのものは薄い洗剤液で。古いシミはレモン片か酢で拭くと効果的。

ジュース(果実汁)
汚れてすぐのときは、水かぬるま湯を含ませた布で拭けば大丈夫。シミが残るときはアンモニアか中性洗剤液で落とします。

ビール・ワイン
水またはぬるま湯を、布か綿棒に含ませ、シミを吸いとるようにたたきます。ぬるま湯でもだめなときは、アンモニアか中性洗剤液で落としましょう。

卵
白身は洗剤液でたたき出すように。黄身はベンジンなどで脂肪分を取ってから、白身と同じようにたたきます。熱湯は蛋白質を取れにくくするので要注意。

ガ ム
氷をあてて凍らせ、たたき砕いて取ります。布製の粘着テープにくっつけてはがし、残りを爪楊枝で取る方法もあります。後はアルコールかベンジンで拭きます。

チョコレート
ティッシュペーパーで拭いてから、ベンジンでたたいて脂肪分を取り、さらに洗剤液でたたき出します。

アイスクリーム
粉末洗剤を山のように乗せ、ベトベトしたものを吸い取らせます。乾いたらブラシではね除くか、掃除機の隙間ノズルで吸引します。

醤油・ソース
ティッシュペーパーでできるだけ吸い取り、洗剤を入れたぬるま湯で拭きます。古いシミはオキシドールで漂白。

カレー
水か湯で絞った布でたたきましょう。落ちなければ毛糸洗い用の洗剤溶液でたたき出します。

困ったシミもあきらめないで

口 紅
アルコールでこすり取り、洗剤を入れたぬるま湯で拭きます。

マニキュア
除光液をしみ込ませた布でたたき吸い取らせ、その後、ベンジンや塗料の薄め液でもたたき取ります。

クレヨン
ひどい汚れはアルコールをハブラシにつけて、たたくようにして取り、そのあと、ぬるま湯で拭きましょう。

灯 油
粉末洗剤をかけて吸収させます。そのあとブラシではらい、自然に蒸発させて乾かしましょう。窓を開けると乾きやすく臭いもとびます。

水性と油性のシミ取り

水性のシミはこうして取ります

■ 例:しょうゆの場合

① ティッシュペーパーで上から押さえ、たたいて水分をティッシュペーパーに移し取りましょう。

② 水で薄めた台所用洗剤をハブラシにつけてシミの上からたたき、さらに洗剤を置いて指で泡立て、汚れを浮かせます。汚れを広げないよう、周囲から中央に向かって作業します。

③ 濡れたタオルで洗剤分をよく拭き取ります。泡が取れたら、ティッシュペーパーで水分を吸い取り、洗剤が残らないよう、固く絞ったきれいな布でもう一度拭きます。

＊水性汚れの例
ジュース、醤油、牛乳、ソース、ケチャップ、チョコレート、ジャム、酒、紅茶、コーヒー、キャンディー、墨汁など。

油性のシミはこうして取ります

■ 例:マニキュアの場合

① 布に除光液を多めに含ませ、たたき込んで汚れを移し取ります。

② 除光液で移し取れなくなったら、塗料用薄め液で、繰り返したたきましょう。油性マジックのときもこの方法で。ベンジンでも取れます。

③ 水性汚れの場合と同じように、洗剤をつけてたたくようにして拭き取ります。

④ 洗剤をきれいに取りのぞき、水拭きし、水分を取って、乾かしましょう。

＊油性汚れの例
バター、マヨネーズ、食用油、卵、マジックインキ、マニキュア、口紅、ペンキ、靴墨など。